

## 南小たば風通信 2019

令和元年6月1日 第4号

## 授業研究（研究部提案）を行います！

運動会の練習お疲れ様です。あとは、明日がよい天気になることを祈るばかりです。

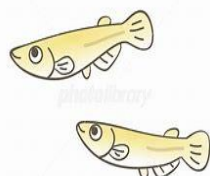
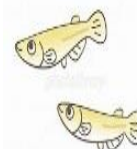
さて、運動会明けの6月5日（水）に研究日を設定していましたが、いろいろと条件が重なり、7日（金）5時間目に変更させていただくことになりました。すみません。自習等の準備をよろしくお願いいたします。

今回は、研究部からの提案授業ということで、三浦主査と稲船研究部長の理論研修をもとに、今年度の研究の方向性が見えるような授業になればいいなあと考えています。

いくつかのポイントを考えて指導してみます。授業をご覧になり、ご意見をいただけたらと考えています。

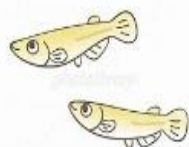
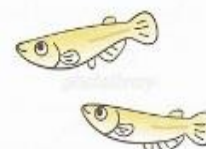


○指導事項を「（1）エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること」としました。要点を小見出しとしてまとめたり、自分のかっこいいと感じた部分を大段落ごとにまとめたりする活動を通して「めだかのかっこよさ」を伝えるという目的を達成できるような学習計画としました。

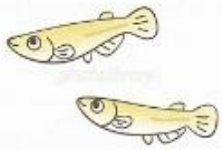


○単元計画を少々工夫しました。教材文「めだか」の途中に「図書館へ行こう～本で調べよう～（4時間扱い）」を挟み込み、全員に図鑑で「めだか」を調べ、目次や索引等を活用しながら調べ方を身につけさせ、併せて自分の知識を増やすための時間として確保してみました。

○「適切な対話」を3年生の5月という発達段階から「ペアの交流」を中心としています。本時では、文章を書く前に自分の書きたい内容を明確にさせるため「どのようなことを書こうと思っているのか」をテーマに交流させたいと考えました。

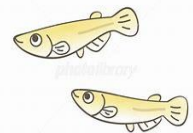


○単元の評価については、「めだかの特長を段落の中心となる語や文から、要点をおさえてかっこよさを知らせる文章に取り入れていたか」で判断したいと考えます。適切な部分を要約することが、よく読むことにつながり、読みを深めたいと思います。



○言語活動を『めだかのかっこよさを知らせよう』と設定し、目的を友だちや家族に自分がかっこいいと感じたこと（内容）を選択し、自分の思いや考えを加えた文章を書くことにしました。そうすることで「文章を引用したり、要約したりすること」にもつながり、本単元の読む能力と主体的・対話的で深い学びに関わる「つけさせたい力」が身につくのではないかと考えました。

○書くことが苦手な児童のために、見本の作品を用意しました。前時に全体で紹介しておき、苦手な子がまねて書くことで、書き方がわかり、学習に対する意欲が下がらないようにしました。（「白い花びら」の学習でも齋藤先生が取り組んでいた方法です。）



#### <事後研について>

- ・授業の流れや単元の流れについては、齋藤先生にお話していただきます。（町教研の評議委員会のため山本が不在となります。すみません。）何か質問等があれば、どんどん齋藤先生までお願いします。わかりやすく答えてくれますので。

<事後研の流れ>◆15:30～ 3年生教室 全体司会：荒谷先生 記録：稲船先生

- ① 授業者から 5分
- ② 質問（全体で確認したいことなど） 5分
- ③ グループごとに話し合い 25分

**【討議の柱】** 単元計画や本時が仮説を検証できるものとなっているか。

《仮説》○指導事項を明確にし、適切な対話を位置づけることで、子どもたちが課題に対して粘り強く取り組むことができるだろう。

○各単元に、適切な言語活動を設定し、目的意識をもたせることで、「つけさせたい力」が確実に身につくだろう。

- ・付箋を貼りながら、\_\_\_\_\_の方を中心に話し合いを進めてください。
  - ・最終的にグループでどんな話し合いがされていたか、3分ほどで話してもらいます。司会の方は話を進めながら、意見をまとめておいてください。よろしくお願いします。
- ④ 各グループの発表（3分程度） A→B→C 10分
  - ⑤ 教頭先生・校長先生より 5分

※3年生教室に2色の付箋を準備しておきます。（ピンク→よい点 水色→改善点・改善案）

#### 【グループ】

A	稲船先生	庄山先生	加藤先生	佐藤先生	教頭先生	（山本）
B	荒谷先生	飯高先生	齋藤先生	押見先生	増田先生	牛谷内先生
C	三上先生	星先生	島村先生	十河先生	校長先生	